

事業の概要

【实施背景】

- 全国的に投票率の低下や地方議会議員のなり手不足が深刻化する中、令和５年度、鳥取県では「投票率低下防止等に向けた政治参画のあり方研究会」を立ち上げ、県内外の有識者により対策を検討。
- 同研究会において、以下のような提言あり。
「小・中学校等の早期の段階での主権者教育及び選挙体験が重要」
「実践的な主権者教育を推進する上では、学校によって主権者教育の内容や量に差があるため、一定の水準を確保する観点から、カリキュラム的な連続性を持った主権者教育プログラムを作成し、当該プログラムに基づき全県下で体系立てて主権者教育を推進していくことが重要」
- これを踏まえ、令和６年度に「ちいわかになろうや！教育プログラム・教材作成研究会」を立ち上げて、小学校、中学校等において主権者教育を推進するための教育プログラム・教材の作成について検討した。

【事業内容】

県内の小中学校の年代の児童・生徒を対象に、地域課題等、具体的な題材をテーマとしたオンライン投票を実施し、その投票結果による影響を児童・生徒にフィードバックして、選挙の意義・有効性を体感する教育プログラム（「鳥取県版ちいわか総選挙」）を令和7年度に全県的に実施するにあたり、小学校6年生の学年を対象とした教材及び中学校3年生の学年を対象とした教材を作成した。

【事業実績】

事業費 979千円



事業の効果、今後の展開など

- 県内の小学6年生・中学3年生に当たる学年を対象に、地域の課題をテーマとしたオンライン投票を秋頃に実施する。
- 投票結果を公表し、実際に鳥取県の施策等に反映。
- その反映結果等を児童・生徒にフィードバックして、児童・生徒が選挙の意義・有効性感覚を体感することで主権者意識を醸成する。